

議案第1号 令和元年度事業実績について

令和元年度事業実績について

1 概要

令和2年1月20日閣議決定された「令和2年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」によると、令和元年度の我が国経済は緩やかに回復が続いているとされています。しかし、令和元年8月以降の景気動向指数においては各月共「悪化を示している。」とされ、令和2年3月の月例経済報告においては「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にある。」とされ、令和元年10月の消費税率の改定及び令和2年1月以降の新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度経済は年度末にかけて漸次悪化していったことが見て取れます。

こうした中、当センターでは、高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会の確保及び組織的提供を行って、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図ることにより、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的として事業を実施し、令和元年度の主な実績は次のとおりとなりました。

令和元年度の請負・委任の受託金額は前年度比2.6パーセント減の15億2,193万6千円、京都府シルバー人材センター連合会の実施事業所として実施している派遣の受託金額は前年度比13.4パーセント増の2億4,841万5千円、合計で前年度比0.7パーセント減の17億7,035万1千円となりました。

また、令和元年度の請負・委任の受託件数は前年度比0.5パーセント減の11,058件（1箇月単位のカウントだと28,271件、以下「月単位」という。）、派遣の受託件数は前年度比9.7パーセント増の305件（月単位1,818件）で、合計で前年度比0.2パーセント減の11,363件（月単位30,089件）となりました。

一方、令和元年度末の会員数は前年度比1.0パーセント（51人）増の5,182人（男性会員3,223人、女性会員1,959人）で、平均年齢は73.9歳、会員の粗入会率は1.1パーセントとなりました。

また、請負・委任の令和元年度の就業状況につきましては、就業延人員は前年度比3.3パーセント減の328,618人、就業実人員は前年度比3.7パーセント（134人）減の3,520人、就業率は前年度比3.3パーセント減の67.9パーセントでした。

以上の請負・委任に派遣を合計した令和元年度の就業状況につきましては、就業延人員は前年度比1.7パーセント減の379,632人、就業実人員は前年度比2.6パーセント（102人）減の3,806人、就業率は前年

度比2.8パーセント減の73.4パーセントでした。

2 事業報告

(1) 受託事業

臨時的かつ短期的な請負・委任による就業又はその他の軽易な業務に係る請負・委任の就業に係る事業では、令和元年度から配分金見積基準最低単価を改定しました。

受託金額の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
請負・委任受注額 (百万円)	1,493	1,524	1,563	1,522

(2) 独自事業等の推進

就業機会の拡大、自主財源の確保及び地域貢献を果たすことができる事業の推進及び新規事業等の検討に努めました。

(3) 職業紹介事業

平成26年度から、臨時的かつ短期的な雇用の紹介又はその他の軽易な業務に係る雇用の紹介は、有料で実施しています。

有料職業紹介の状況 (平成31年4月～令和2年3月)

企業からの求人件数	企業への紹介件数	企業へ就職した件数
6	6	6

(4) 一般労働者派遣事業

臨時的かつ短期的な派遣又はその他の軽易な業務に係る派遣は、請負・委任による就業からの切替等により、大幅に増加しました。

派遣の状況 (平成31年4月～令和2年3月)

件数	就業実人員
305件	473人

(5) 講習会の開催

講習会の実施状況 (平成31年4月～令和2年3月)

講習会名	内容	実施日	講習延回数(回)	受講延数(人)
福祉・家事援助 初級研修	・会員としての心構え ・仕事の留意点	第2・4木曜	29	155
筆耕講習	・宛名書き ・賞状書き	4/11,5/9, 5/23 6/13,8/8,8/22 9/12	7	78
除草講習	・機械による除草作業	4/16	1	19
	・鎌による除草作業	5/21	1	17
福祉・家事援助 健康講座	・心と体を生き生きと！エンジョイスポーツ・3B体操！	6/19・28	4	121
福祉・家事援助 掃除講習	・キレイが続く家にする 簡単収納&片付け術	7/18・19	4	115
子育て支援講習	・子どもとの関わり方及び遊び方 ・保育従事者に求められるもの	9/25～28	7	98
福祉・家事援助 料理講習	・旬のキノコアラカルト～洋風～	10/11・21・ 23・24・29	5	120
子育て就業会員 講習	・各種障がい踏まえた保育のあり方 ・虐待について	10/21～11/1	6	312
福祉・家事援助 中級研修	・脳外科医30年生からのメッセージ	11/8・21	4	158
観光案内講習	・実技講習 安全な誘導, 乗降車 ・実技講習 主な名所の案内方法	3/23・24	2	116

(6) ボランティア活動等の推進

地域班の一部の地区では清掃ボランティアを実施し、福祉・家事援助サービス職群班では児童館で絵手紙づくりのボランティア及び社会福祉法人2団体へのタオル寄贈のボランティアを実施しました。

(7) 就業体験等の実施

ちまき作りの就業を体験する機会を設け、就業会員の拡大を図りました。

(8) 普及啓発活動の推進

ア イベント等での取組

「区民ふれあいまつり」等の会場及び各地区で、会員がPRチラシ等を配布しました。

イ 会員の日常的取組

職群（福祉・家事援助サービス）班所属会員が、1人あたり1回3枚のビラを近隣、知人に配布しました。

ウ 関係機関等での取組

関係団体が刊行する新聞に広告を掲載しました。

エ マスコミ媒体の利用

臨時入会説明会開催を周知するとともに、当センターへの仕事の発注を呼び掛ける広告ビラを京都新聞に2回封入しました。

オ インターネットの利用

インターネット上のホームページを通じ、シルバー人材センターの事業理念、目的及び仕組など各種情報の提供を行っています。

(9) 就業開拓活動及び受注対応体制の強化

ア 関係機関を通じた開拓

京都市をはじめとする公共機関に対し、新規発注及び市民への利用勧奨を要請したほか、関係団体が刊行する新聞に広告を掲載しました。

イ 就業開拓員による開拓

就業開拓員が民間企業、各種団体及び事業所等へ直接訪問して就業開拓活動を行いました。

ウ 会員による開拓

地域班及び職群班会員によるチラシ配布等の活動並びに一般会員による折に触れてのPR活動等を行いました。

エ マスコミ媒体の活用

臨時入会説明会開催を周知するとともに、当センターへの仕事の発注を呼び掛ける広告ビラを京都新聞に2回封入しました。

オ 発注者へのフォロー

就業開拓員が発注先を直接訪問して、発注者の意向等を確認しながら、就業の継続及び拡大に努めました。

カ 受注対応体制の強化

事務局のみならず、地域班及び職群班も一体となって、会員の就業意向及び現況の把握に努めることにより、受注があったときに迅速かつ適切に就業提供できる体制の構築に努めました。

(10) 相談及び情報提供

就業、講習及びボランティア活動等に係る高齢者からの相談に応じ、情報提供を行いました。

(11) 安全・適正就業の推進

ア 安全就業の取組

就業現場の安全パトロールを行ったほか、就業会員にヘルメット等の安全防具及び飛び石防止ネットの貸出を行うなど、事故の未然防止に努めました。

イ 安全意識の向上

職群班での会議及び研修会等で就業会員の安全就業意識の向上を図る一方、令和元年9月24日、中京警察署の協力により、二条自動車教習所で自転車安全講習を実施し、会員の交通安全意識の向上に努めました。

ウ 適正就業の推進

会員就業基準を基に就業会員の交代を実施するなど、長期同一就業の解消及び未就業会員への就業提供に努めました。

エ 就業形態適正化の推進

法令に則った就業の実施のため、就業形態の見直し等を推進しました。

オ 事故保険金支払状況（平成31年4月～令和2年3月）

区分	人的事故		物的事故	
	件数	主な事故内容	件数	主な事故内容
就業中	13	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃中、躓いて転倒し、顔打撲 ・剪定中、躓いて転倒し、額裂傷 ・清掃中、ドアにぶつかって転倒し、足打撲 ・清掃中、階段から落下し、足骨折 	17	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈機で小石を飛ばして、ガラスを破損 ・剪枝を落下させ、フェンスを破損 ・花瓶を落下させ、破損 ・照明カバーを落下させ、破損
就業途上	4	<ul style="list-style-type: none"> ・躓いて転倒し、顔打撲 ・自転車で転倒し、足骨折 ・バイクで転倒し、足骨折 ・自転車で転倒し、腕骨折 	/	

(12) 調査研究

法・制度の変更に適確な対応をし、事業の一層の効率的運営を図るため、行政機関及び政令指定都市をはじめとする各シルバー人材センターとの情報交換を行うなど、調査研究に努めました。

(13) 定期総会、理事会及び専門委員会の充実・強化

就業開拓委員会及び安全・適正就業委員会では、2年に1度の委員の定期改選を行い、新体制の下、活動の強化を図りました。

(14) 会員の増強

入会促進の取組を集中的に実施して会員を増強するため、令和2年1月から3月までを入会促進キャンペーン期間として、毎週金曜日に実施している通常の入会説明会に加えて臨時入会説明会を計7回実施したほか、現会員から入会希望者の紹介を募るなどの取組を行った結果、年度末会員数は前年度を51人（1.0パーセント）上回りました。

なお、臨時入会説明会参加者を除く入会説明会の1回あたり平均参加者は22.4人（本部9.9人、東部支部7.1人及び北部支部5.4人）で、前年度よりも1回あたり平均参加者は2.1人減少しました。

(15) 会員組織の充実・強化

ア 地域班の強化, 活性化

地域班では、「シルバーだより」の配布, 地区長会等の会議の開催などの地域班活動に加え, 各区の区民まつり及び各種イベントでのPRビラの配布などの普及啓発活動に積極的に取り組みました。

(7) 各地区会議開催状況 (平成31年4月～令和2年3月)

本 部		東部支部		北部支部	
地 区	回 数	地 区	回 数	地 区	回 数
中京区	6回	東山区	7回	北区	5回
下京区	8回	山科区A	5回	上京区	7回
南区	1回	山科区B	7回	左京区A	7回
右京区A	6回	伏見区A	1回	左京区B	5回
右京区B	2回	伏見区B	1回		
右京区C	1回	伏見区C	6回		
西京区A	4回				
西京区B	7回				

(イ) 全体会議開催状況 (平成31年4月～令和2年3月)

開催年月日	会 議 名	内 容
平成31年 4月19日	委嘱状伝達式 地区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の地域班活動について ・定期総会について ・就業相談会の取組について
令和元年 7月19日	地区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発活動拡大に向けた取組について ・配布体制の確立について ・就業相談会の状況について
9月20日	地区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・各区民まつり及びイベントでの取組について ・一斉街頭啓発活動について ・配分金の変更について
11月15日	地区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・市民すこやかフェアについて ・下半期の取組について ・未就業対策について
令和2年 1月17日	地区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時入会説明会について ・町家ポスティングの就業について ・地区総会の取扱について

イ 職群班の組織化、活性化

各職群班では、技術講習や会議などの職群班活動に努めました。

職群班会議開催状況（平成31年4月～令和2年3月）

職群班名	会議名	実施日
福祉・家事援助 サービス班 (KSR)	総会	4/7
	ブロック長研修	4/26, 12/19
	運営部会議	4/18,5/17,6/17,7/23,8/21,9/19 10/18,11/18,1/21,2/19
	ブロック長会議	4/26,5/27,6/25,7/31,8/29,9/27 10/28,11/26,12/19,1/29,2/27
子育て支援	全体会議	4/12,5/11,6/8,7/11,8/9,9/9 10/15,11/13,12/12,1/17,2/17

(16) 事務局体制の充実・強化

ア 職員の資質向上

全国シルバー人材センター事業協会及び京都府シルバー人材センター連合会等の会議、研修会及び講習会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。

イ 事務の効率化の推進

事務の効率的推進のため、事務機器の入替を行いました。

ウ 継続性の確保

事務局の継続性を確保して効率的な事業運営を行うため、非正規職員4人を正規職員化しました。

エ 会員の活用

就業開拓及び地域班等に係る業務の一部を会員に委託しています。

(17) 施設の充実・拡充

事務所の移転及び設置の検討に努めました。

(18) 財政基盤の安定・強化

支払が滞っている発注者への直接訪問及び内容証明郵便による督促など、未収金の発生を防止するための対応に努めました。

(19) 介護予防・日常生活支援総合事業

就業開拓員等が地域包括支援センター等へ直接訪問して受注の獲得に努めた結果、受託件数は前年度比33.3パーセント増、受託金額は前年度比40.7パーセント増となりました。

受託状況 (平成31年4月～令和2年3月)

受託件数	受託金額
56件	4,814千円